

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/06/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.38	0.04
JPY/THB	0.2596	0.0010
USD/JPY	136.26	-0.31
EUR/THB	37.38	0.14
EUR/USD	1.0566	0.0033
USD/CNH	6.713	0.021
SGD/THB	25.51	0.02
AUD/THB	24.50	-0.14
USD/INR	78.38	0.30
USD Index	104.20	-0.24

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.498	-0.013
10Y (THB)	2.943	-0.009
5Y (USD)	3.230	-0.133
10Y (USD)	3.156	-0.119

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,834.3	-0.3
WTI (Oil)	106.19	-4.46
Copper	8,773.0	-222.0

Stock

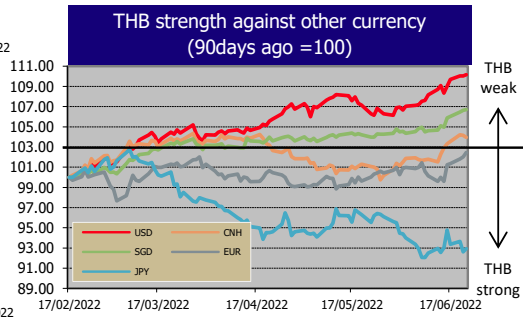
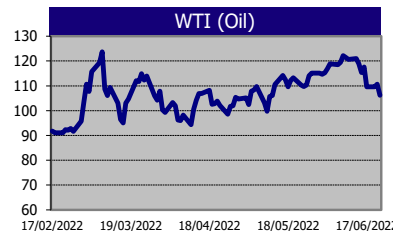
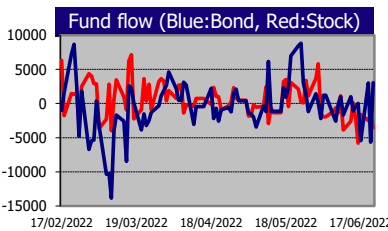
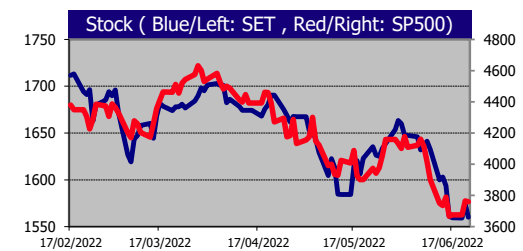
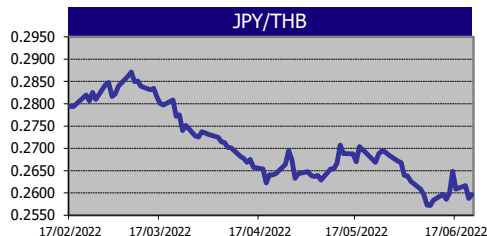
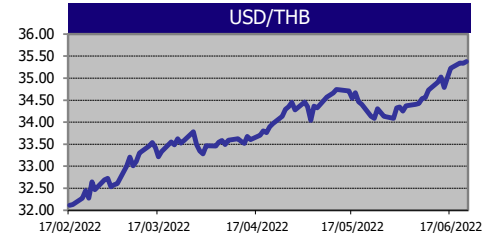
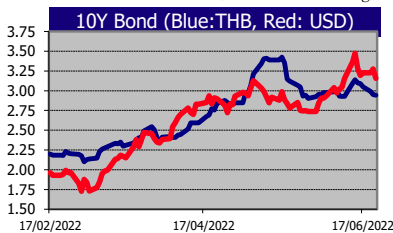
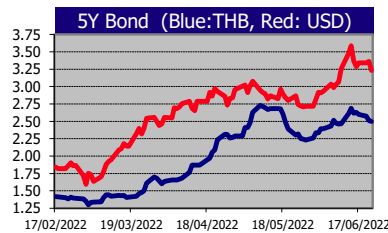
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,560.02	-14.50
NIKKEI (JP)	26,149.55	-96.76
DOW (US)	30,483.13	-47.12
S&P500 (US)	3,759.89	-4.90
SHCOMP (CN)	3,267.20	-39.52
DAX(GER)	13,144.28	-148.12

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(3,586)	-2039.7
Bond net flow	3,031	8673.9

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

・昨日のドルパーツは高値更新後に下落。バンコク時間は35.45近辺でオープン。引き続きリセッション懸念が意識される中で、原油価格が大きく下落し、ブレント原油価格は116ドル近辺から一時107ドル近辺まで下落。景気後退不安に伴う期待インフレの後退も意識され、米金利も大きく下落し、米10年金利は3.28%から3.13%近辺まで15bp近く下落。ドルパーツは経済先行き懸念からパーツ売りが進み、年初来高値となる35.55近辺まで上昇するが、海外時間に入り、パウエルFRB議長が上院公聴会でリセッションへの可能性について含みを持たせる発言をすると、ドル売りが加速し、ドルパーツも一段安となる中で35.30近辺まで下落した。

●ドル円その他

・昨日のドル円は下落。東京時間のドル円は136.32レベルでオープン。公示仲値にかけてドルは買われたものの、株式市場が下落に転じる中、上昇一服。パウエルFRB議長の議会証言を控えた押し目買いによって反発し、海外へ。パウエル議長はソフトランディングは難しいとしながらも「インフレ2%目標への回帰にFedは強力にコミットする」、「米経済は非常に力強く、引き締め策への対処は可能」とややタカ派の証言となったことでドル円は上昇基調を取り戻し、136.26レベルでクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

円安が止まらない状況が続いています。背景は様々ありますが、やはり最大の注目材料は日銀による金融緩和維持がいつまで続くかだと思います。特に、日銀はイールドカーブコントロールにおいて10年物国債金利がゼロ%程度で推移するよう、上限を設けずに長期国債の買い入れを行っています。変動幅上限として定められている0.25%を一時的に上回る日があるなど、日銀の動きを試す様な動きが見られています。印象的なのは、7年物国債の金利が10年物国債の金利を上回る逆イールドの現象が一時的に生じたことです。7年物国債の金利は比較的投機的な動きが出やすい債券先物市場の値動きを反映しており、投機筋が債券先物を売り浴びせ(7年物金利が上昇)、いわば日銀に挑戦する形になっています。逆に言うと、足元の円安は投機によって助長されている部分もあるとも言えることから、値動きは大きくなりやすく、ちょっとしたきっかけで円安の巻き戻しも生じ得ることは念頭において置きたいところです。(池澤)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.